

かしの木広場

富岡市地域子育て支援拠点事業・子育て通信 2026年7月 NO.287

6/6の午後であれはうの日の事です。この日は風が吹いてとても心地のよい日でした。お母さんの抱っこで動物園を見学あり。その後庭にシートを敷いてその上で遊びました。ごろんと布団の上に寝ころんだ赤ちゃんも青葉が風に揺れる様子もじっと見ています。お座りしたおちゃんも、向かって来た風を「うー」と声をあずき全身で受けとめています。とても気持ちよさが伝わったのでしょうか。二人とも「緑葉を遊びたい」といいました。お母さんにいたずらも自然と気持ちよく聞かれています。ようでした。 暑、夏がやってきました。

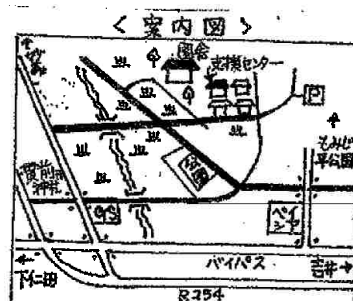
7月予定

暑い夏がやってきました。
秋の木の園庭に遊ばせたいね。

かしの木保育園
富岡市黒川 64
TEL63-4215
FAX67-1360

· 園庭開放

8:30 ~ 17:30
名簿があり持ち込むので、2階の事務所に声と掛け下さい。



有明の方、園内見学希望の方
お電話下さい。
駐車場は子育て専用①を
ご利用下さい。道路カブの路肩
は駐車してない下さい。

7/1(水)
沖縄の三線と太鼓を楽しもう

15時30分から始発料。圓舎ホ北に来た時

7/31 (金) 沖縄の踊りを楽しみつゝ = 9:45 センター集合 =

7/3(金)七夕飾りを作ろう

夏の風に涼しげに揺れる花の葉に
短冊に願いを込めて吊しなすけ。
夕形、足形をとって飾りも作るうけ。

明らかで豊かな文化が息づいている
沖縄の三線、太鼓、民謡、踊りと
親子で楽しみましょう。
在園児と一緒に見ます。

7/7(水) 手作り毛糸の
握りおもちや作り (要予約)

赤らめんは荒達に穴をはい握り毛を
センター置いてある 本を細長く縫い、
丸い玉をつけた握りおもしろい。
ひかげに来た赤らめんも取運んでいます。
お土産をおしゃべりしながら楽しく作り乳油
材料代 200円

7/10(金) Tシャツ染めよう (齊子納)

オリザン
ビニール
臭気防止

ハヤシ染めの染料を使い、手ぬぐいで
染め、赤い色合いに染めあげます。
しかも、染めたので、模様も染めあげます。

-持ち物=白、白のTシャツ
※新しいもの、先着のものを落としてください！

大人1人につき100円 バッグ、エム手紙
子ども1人につき50円

園庭開放 (月～金)		8:30 ~ 17:30	
月	火	水	木
	ひよこ広場 9:30~12:30 0才～	たんぽぽ広場 9:30~12:30 1才前後～	たんぽぽ広場 9:30~12:30 1才前後～
		1 沖縄の干ばつで！ 三線太鼓と楽しもう	2 園庭開放
			3 七夕飾り作り (夏祭)
6 園庭開放	7 手作りおもちゃ 握りおもちゃ作り	8 木陰であそぼう 動物と触れ合おう 砂遊び、水遊び、たんぽぽ	9 園庭開放
			10 イシャツ染めよう (夏祭)
13 園庭開放	14 木陰であそぼう 動物と触れ合おう 砂遊び、水遊び、たんぽぽ	15 園庭開放	16 園庭開放
			17 木陰であそぼう 動物と触れ合おう 砂遊び、水遊び、たんぽぽ
20 海の日	21 ・動物と触れ合おう ・木陰で散歩して ・動物さん見に行こう	22 木陰であそぼう 動物と触れ合おう 砂遊び、水遊び たんぽぽと水遊び たんぽぽと水遊び	23 園庭開放
			24 園庭の大掃除と春の 雑草取りと楽しもう (夏祭)
27 園庭開放	28 ・暑い日は水遊び ・水遊び	29 ・動物と触れ合おう ・砂遊び、水遊び ・たんぽぽと水遊び ・たんぽぽと水遊び	30 園庭開放
			31 沖縄の踊りを楽しもう (夏祭)

*木陰であそぶのが雨の場合センターで済む。

月令で曜日を分けていますので、年令センターと利用して下さい。

都合により
変更する場合が数回

猜相誤

毎週 ⑤ ⑥ 1000 S 1200 (他も 逡路可)

予育て中の位やバ配な事に保育士や看護師が
相談に乗りなす。お気軽にお慰めなすい。

7/24(金) 食べるの大好きを育てる
食生活を楽しもう

請所鈴木千鶴子人
管理事務所

いなかからいきなり食料を
とって入ってくるの？
食料の切り方、煮方、どうやって
食べてくれるの？
毎日作るの大変と感じている方もいるか
思われる。“体考バを大敵に”
“意欲を育てる食事”何を大事にするんじや
いいのか、おとなで学ぶ合いましゅう。
試食がありす。家で使っている
スプーンを持参してさ。

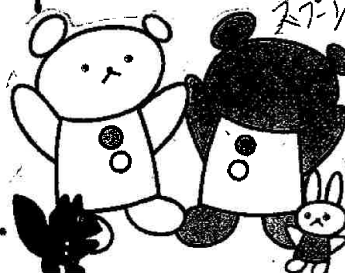
— 國長 —

かしの木農園に播かれた大豆、ひまわり
の種。一週間後一生懸命土をもち上げ
芽を出しました。小さな又葉のどいて
そんな力があるので(よう)。

一粒の種、植物の持つ力に驚きます。

セツ八 12:30 終了セテ頂きます。

マスクの着用につきましては、個人の判断にお任せ致します。
おもちゃの消毒、換気、衛生面に配慮致します。
お庭遊び、砂場遊びなど手洗い後のタオルを控えて下さい



虫刺され

いまいち小児科クリニック院長
— 今井 博 先生 —



子どもは大人に比べて、蚊などに刺されやすい。お母さんが「刺された」といって泣くのは、お母さんが「刺された」といって泣くのと一緒。お母さんが「刺された」といって泣くのは、お母さんが「刺された」といって泣くのと一緒。

蚊は皮膚に口吻（くわん）（細いストローのようなもの）を刺して血液を吸いますが、スミースに皮膚に刺せるようにするため、唾液を潤滑油として使います。そして口吻を抜いたあとこの微量の唾液が皮膚の中に残り、この唾液中のタンパク質を異物、すなわち自分の体の成分ではないものとして認識し始めます。いったん異物と認識したらそれを攻撃する免疫力が働き、刺された局所でアレルギー性の炎症という戦闘が始まります。

さらに重要なことは、子どもの場合、その炎症の様相と激しさが、成長とともに変化してゆくという点にあります。

生まれたての赤ちゃんは、刺されても蚊の唾液を異物として認識する力が弱いので無症状です。やがて何度も刺されているうちに体が蚊の唾液を異物として認識するようになると、刺されて即座（15分以内）に赤くはれて、かゆみを伴うようになります。これが即時型アレルギー反応（I型）と呼ばれる炎症で、ムヒ、レスタミン、オイラックスなどの抗ヒスタミン剤が治療薬となりますが、反応は長く続きませんから薬がなくても早晩、かゆみは消失します。

このI型の反応は乳幼児期にピークを迎え、発赤やはれも強いのですが、年齢とともに徐々に小さくなってゆきます。一方、このI型の反応と入れ替わるかのように強くなるのがIV型のアレルギー反応（遅延型反応ともいう）で、刺されてから48時間後に再びしこりを作ってかゆみが増します。この反応には抗ヒスタミン剤は無効で、ステロイドが唯一の治療薬になります。

いったんかき始めると血が出るまでかくなど、かくという刺激でかゆみが誘発され、しかも自制できないくらいに激しいかゆみの特徴です。かくとよけいにしこりができて、またよけいにかゆくなるという悪循環により慢性化したものをストロフルスと呼びます。夏に刺されたあとが冬になってもしこりとして残っていることも珍しくありません。こうした遅延型反応やそれに引き続くストロフルスは、3歳くらいから

小学校の低学年までが好発年齢です。小学校の4年生以上になると、蚊に刺されても、直後は少しくブクツとはれてかゆいものの、翌日にはましになり、大人と同様の反応に落ち着いてきます。そして、以後は加齢とともにこれらの反応は衰えてゆきます。お年寄りには蚊に刺されないとはいいますが、実際には刺されても反応しなくなっているだけなのです。

このように、蚊などの虫刺されがひどくはれたりかゆくなったりするのは生体の免疫反応の強さを反映しています。何万回も刺され続けているうちに免疫寛容が成立し、加齢とともに反応が鈍くなってゆくのです。漆職人が何回も何回もかぶれているうちに、徐々にかぶれなくなる現象と同じです。都会に住んでいる方が田舎に行くとヤブ蚊に刺され、非常にかゆかったというのは、これまでに出会った経験が少ない種類の蚊に刺された場合は、大人でも強い反応を起こすからです。ですから、蚊に対するアレルギー反応は、多かれ少なかれ子どもの時期にたくさん経験しておかないと、あとでツケを払うことになります。「虫刺されも幼児期にたくさん経験して、より強い大人になるための学習なのだ」と考えれば、今の気苦労も少しは意味があるものと思えそうです。

とはいえ、あまりにひどい虫刺されはなんとかしたいものです。予防と治療を考えてみましょう。

市販の虫よけ剤の多くはディート（DEET）という化学物質が使われています。ディートは殺虫剤ではなく、蚊やダニなどの昆虫（それ以外にヒル、ナメクジなども）が嫌うことによって防虫効果を発揮します。世界で使用されてすでに50年以上経過し、今のところ特に重篤な副作用の報告もなく比較的安全だと考えられています。長期間の慢性的使用による神経毒性のリスクが払拭されていません。夏場だけとはいえ毎日の保育でルーチンに使用することは厚生労働省も禁じていますので、蚊やブヨなどが特に多い野外での活動時など、必要時に限って使用するようにしてください。

使用にあたっては以下の注意事項を守ってください。①幼い子どもにはできるだけ使用しない（6か月未満の乳児には使用禁止、6か月以上2歳未満は1日1回、2歳以上は1日1〜3回にとどめる）。②目や口に入らないように気をつける（顔や手のひらには噴霧・塗布をしない）。③閉め切った部屋などの気密空間で噴霧しない（高濃度に吸い込むと呼吸困難をきたすことがある）。④複数の薬を塗る場合は、湿疹やアトピーなどの治療薬を一番下に、その上に日焼け止めを、そして一番上に虫よけ剤を塗布する、などです。

虫よけスプレの作り方

- 500mlのペットボトルに水500ccと1.5gのミョウバンを入れる
(溶けるのに2〜3日かかる)
※ ミョウバン 制汗作用、収斂作用により細菌の繁殖を抑える
- ①をスプレー容器に入れ、はっか油を10滴位入れる
※ はっか油 鎮静、かゆみ止め、虫の忌避効果がある

赤ちゃんでも安心して使える。こまめにスプレーすると効果が持続する。

ドクダミから作った虫除けは、ドクダミの殺菌作用があるため、刺されたあとのかゆみ止めにも効果があり、園でも手作りしています。支援センター置いておけるので、ためしてねえ。

